

⑨<学習指導>学習評価

考えの広がりや深まりを横断的に考える

【キーワード】 授業開始時の考え 授業終了時の考え

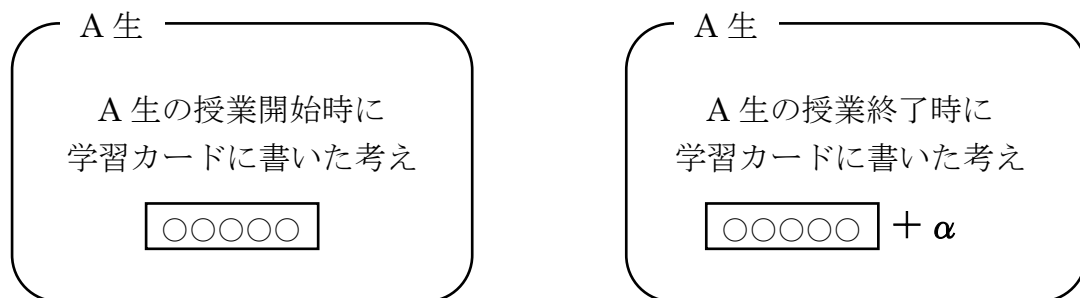
【事例：学習カードから学習評価を考える】

1 ねらい

新学習指導要領に示されている資質・能力の1つである「思考力・判断力・表現力等」を評価する授業を公開したり，生徒が記入した学習カードの記入から生徒の伸びを考えたりすることを通して，学習評価の研修として位置づけていく。

2 方法

- (1) 「授業開始時の考え」と「授業終了時の考え」を記入できる学習カードを準備する。
- (2) 授業の開始と終了に，本時の学習問題に関わる質問に対する考えを書く。
- (3) 他教科の先生を交えて，小規模な研修会を開き，ひとりの生徒を事例として，授業の開始と終了時に書かれた考えの相違を見比べる。
- (4) 生徒の変容を語り合う。



A 生の考えが，1時間の授業を終えて ○○○○○ という考えが，
○○○○○ + α という考えになった。

αは，なんであったのかを，技術・家庭科ならではの視点と横断的な視点で考えて，「思考力・判断力・表現力等」の評価につなげていく。

技術・家庭科	横断的な内容
技術・家庭科 教科ならではの 見方・考え方	比較 検討 類推 比べる 関連づける 統合 発展的な見方

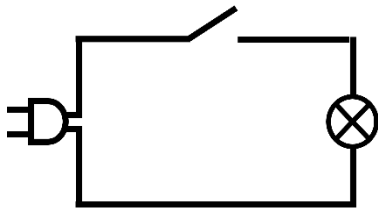
4 校内研究の様子

技術・家庭科（技術分野）で、「トイレの照明の回路はどんな回路にしたらよいか」について考えた授業について、校内研修を行った。

<学習カードに書かれた生徒の考え>

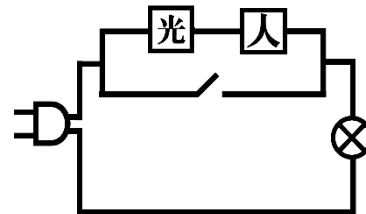
〔B生の授業の始まりの時点での考え〕

人感センサが起動したままだと、明るい時に人が来ても電気が点いてしまってもったいないので、手動のスイッチにした方がよいと思う。



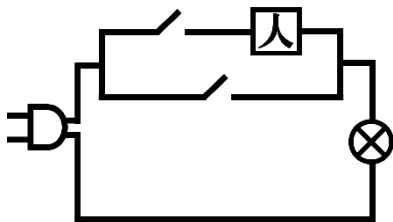
〔B生の授業の終わりの時点での考え〕

衛生面と足や手をケガしてスイッチがおしにくい人のために、光センサと人感センサを直列にいった。暗くて人が来た時にだけ点灯するので、電気代のムダが省ける。スイッチを並列に入れて、センサが故障した時は手動でも点けられるようにした。



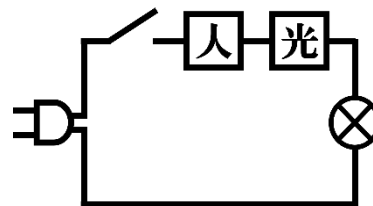
〔C生の授業の始まりの時点での考え〕

人感センサだけだと、個室でじっとしていると電気が消えてしまうから、個室の中に手動スイッチもつけて、電気が消えないようにした方がよい。



〔C生の授業の終わりの時点での考え〕

手動スイッチの消し忘れがあったらセンサをつけた意味がなくなるので外した。光センサを直列につけて暗くなって人がきた時に点くようにするとよいと思う。主電源もつけて、長期休みの時は、省エネになるようにした。



研修後のまとめ

「始まりと終わりに同じ質問をし、考えの深まりや広がりをとらえる」という方法なので、技術・家庭科だけでなく、他の教科でも応用しやすい。また、学習カードや資料の形で共有することで、時間がある時に数人で集まって、小規模な研修を行うことができる。

（伸長期相当）

➤セルフチェック⑨-6

